

(認特) 四国自然史科学研究センター

## 地域もクマも守る 四国の社会イノベーションプロジェクト

活動地域  四国



クマ被害を受ける養蜂箱に電気柵を設置

### 課題

四国に生息するツキノワグマは僅か約20頭と推定され、回復傾向がみられない。早急な保全対策が必要だが、地域住民のツキノワグマへの許容度は十分に高くない。

### 目標

①地域への普及啓発、②トラブル防止の体制整備、③生息状況の把握、④ツキノワグマ保全による利益の創出により、地域がクマの生息を許容できる体制基盤を構築する。



今後の  
展望

住民意識調査から、地域の許容度の低さが明らかになった。地域の不安軽減のため、普及啓発やトラブル防止の体制整備に力を入れつつ、地域づくりや地域観光の視点を取り入れたポジティブな活動を進める予定である。

ひろげる助成

1年目

実践

### 活動内容と成果

- ①調査・活動ステーションの設置、座談会や展示会の実施、普及啓発パネルの制作、チラシ配布、住民意識調査、活動報告冊子の制作など、地域への普及啓発活動を実施
- ②地元住民と協力してクマによる養蜂被害の防除活動を実施
- ③生息地の周辺地域でカメラトラップ45地点を設け、外縁部における生息状況調査を実施
- ④地域とツキノワグマの共生に寄与する商品・サービスを「ISLAND BEAR Friendly」と名付け、第一弾として地元企業と連携した「ISLAND BEAR Friendly五稜著」を販売



活動に協力いただいている地域の  
の方々

養蜂被害防除の実施者 **3人**

生息確認地点数 **15地点**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **40%**

### 苦勞した点と工夫した点

#### ■苦勞した点

参加者を募った一斉調査ができず、45台のカメラトラップを少人数で設置・回収した。

#### ■工夫した点

地域住民数人に協力いただき現地調査を実施した。クマの生息地を一緒に歩き、保全意識の共有や連携体制の構築などが行えた。

〒785-0023  
高知県須崎市下分乙470-1  
電話：0889-40-0840  
E-mail：sion@lutra.jp  
HP：http://www.lutra.jp/

